

新潟県 公民館月報

昭和58年3月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田清
【定価1部 100円 全共・年額 1,200円】

越新幹線が開業し、文字通り県の南北の玄関口として脚光を浴びることになった湯沢の町です。関越自動車道の建設も着々と進み、高速交通時代の観光の町としてわが湯沢町の存在はますます注目されます。

この絵は東京寄りの人口城平線から見た温泉街です。新幹線の建設で温泉通りの展望は完全に遮断されてしましましたが、このガードをくぐり突き当たりを右折すると西山通りの温泉街を通りロープウェーの乗り場を経て布湯スキー場に至る湯沢のメインストリートがあります。

世界一長い県境の大清水トンネルを抜けた新幹線は、絵の左端の山からいきなり湯沢の街へ入って来ます。

雪の季節、カラフルなウエアに身をつつんだ、スキーパーをのせて、新幹線はその偉力を發揮してくれることでしょう。

湯沢温泉街

十一月十五日上

昭和58年3月15日



公運審の声

○複合化する施設と公民館
○地域づくりと公民館
○地域作りのために住民要求と必要課題をどうするか
○各種事業の企画・実施に住民がどのようにかかわっているか
○その中で公運審はどうな役割を果たしているか

- 複合化する施設の中にある公民館の問題点とあり方
- 社会教育機関としての独自性を保つために—
- 公民館保育の理念の確立を求めて
- 公民館保育の環境整備をどう進めるか
- 端人学習を進める視点はどうあらうべきか
- 婦人の生活実態と公民館活動のあり方
- 公民館職員の業務と位置づけについて
- 館長の身分について(常勤・非常勤 業務の問題点)
- 學習の成果を発表できる広報活動を考える

| 分科会名 | 討論 | 内容 |
|-----------------------------|--|--|
| 1 地域づくりと公民館 (都市) (町村) | ○都市公民館の運営について(公運審のあり方) ○公民館の独立性とは何か(教育産業とのかかわりの中で) ○教育機関としての公民館が地域に果たす役割は何か ○地域作りのために住民要求と必要課題をどうするか ○各種事業の企画・実施に住民がどのようにかかわっているか ○その中で公運審はどうな役割を果たしているか | ○子どもをとりまく活城環境を考える ○子どものかかわりを公民館としていかに位置づけるか ○青年団体と公民館活動との結びを考える ○青年活動の現状をみつめ公民館の果たす役割を考える ○成人男子の参加を促進する公民館活動を考える ○成年男子を地域に向けさせる学習内容を考える |
| 2 地域づくりと公民館 (市町村) | ○住民主体による公民館 | ○団体への援助のあり方を考える ○団体が主体的に活動ができる方策を考える |
| 3 住民主体による公民館 | ○複合化する施設と公民館 —社会教育機関としての独自性を保つために— ○公民館保育の環境整備をどう進めるか ○端人学習を進める視点はどうあらうべきか ○婦人の生活実態と公民館活動のあり方 ○公民館職員の業務と位置づけについて ○館長の身分について(常勤・非常勤 業務の問題点) ○學習の成果を発表できる広報活動を考える | ○子どもをとりまく活城環境を考える ○子どものかかわりを公民館としていかに位置づけるか ○青年団体と公民館活動との結びを考える ○青年活動の現状をみつめ公民館の果たす役割を考える ○成年男子の参加を促進する公民館活動を考える ○成年男子を地域に向けさせる学習内容を考える |
| 4 公民館と保育 | ○婦人の学習と公民館 | ○高齢者の学習と公民館 ○障害者の学習と公民館 |
| 5 公民館と保育 | ○婦人の学習と公民館 | ○高齢者の社会参加を促進するための公民館活動を考える ○障害者の学級と問題点 |
| 6 婦人の学習と公民館 | ○婦人の学習と公民館 | ○障害者の学習活動をどう進めるか ○人権尊重の教育として同和教育をどうすめるか ○効果的な学習方法・内容はいかにあらるべきか |
| 7 公民館職員の職務内容 | ○公民館職員の職務と位置づけについて | ○障害者の学習活動をどう進めるか ○人権尊重の教育として同和教育をどうすめるか ○効果的な学習方法・内容はいかにあらるべきか |
| 8 公民館の広報活動 | ○公民館職員の職務と位置づけについて | ○障害者の学習活動をどう進めるか ○人権尊重の教育として同和教育をどうすめるか ○効果的な学習方法・内容はいかにあらるべきか |

田中与三郎

回新潟県少年の主張大会最優秀賞の栄誉を得た名立中学校の森田利幸さんの「ありがとう」を大切に、であった。「ありがとう」という何という真心のこもった美しい言葉であろうか。最近青少年の不良行為自白に人からの親切を心から受け入れ、笑ひの美しい言葉等での反響で、それは茅崎市立先生の提唱でなく、生じて来る。小さな競争運動へ参加してくる。そのなかの三項に「他ヶ奈は茅崎市立先生の提唱でなく、競争の実質を有し、私もその一員であった。そこにはまだ封建的である。そのなかの三項に「他人への陰を宿してしまふ」と半ば嘲笑かわしいことであった。

裏裏の心のこもった言葉の美しさは美しい心を育み、家庭田舎の原動力となって現れる。もうひとつの趣向したいことは、生活

の向上からくる経済の支出増大を要するところが、金銭制の指導にもかかわらず結果は確実に至るなし。

千手小学校卒業式の式辞の中で吉岡校長が本年度の本校の実績目標の一ひとつとして、全校生徒が「ありがとう」という言葉の実践があつた。その二つ目は第三会場が、家庭教員が討論が行われたことなど。

美しい言葉に思う

今年

になつてから感じしたこと

が二つあった。その一つは中魚

の一環として青少年、青年育成会議等、社会教育の場、懇親会等、公民館で開催される。

その二つは、公民館活動

の指導にもかかわらず結果は確

めて満足に至るなし。

学校教育が、社会教育が、社

会場が、家庭教員が討論が

てある。

(川西町公民館連絡会)

資料歓迎

○公民館で作成した資料や文芸作品集または報紙などを

お持ちの方へお届けする

投稿歓迎

○感想文でも結構、折りふれて気附くべく走らせてください。採用文は作品

を差し上げます。

一編集部

学習ゴッココロ無駄弾をうつな

先程、国立婦人教育会館で行なわれた第三回全国婦人教育研修会に参加した社会教育指導研究会で「従来の私たちの学習活動はむしろ生活の現実を避け、きらいとの差別ゴッコで終わっていたのではないか。」といふひじい反省が行われたので報告いただいた。それからまもなく、長岡市中央公民館で行なわれた中越地区公民館長、主事研修会の第2回部会で私は「地域住民の生活課題に即した公民館の事業をどのようによみと進めるか。」について、じきさか古く実績事例を中心にして話題提供を行なは、その後の議論で行政改革、財政再建が叫ばれるむしろ情熱の中で公民館がさらに伸びてゆくためには、地域住民の切実な生活中で公民館がさらに伸びてゆくためには、地元住民の切実な生活課題を正しく把握し、それに沿って伸びてゆくためには、必ずしも運営する公民館は、地域住民の切実な生活課題を正しく把握し、それと申しきだ。

(2)

記 頭 騒

昭和三十年以来、公民館は勤務してきた私たどつて、かつては市議会の話題にすらならないかった

この公運審予算を思う中で公民館がさらに伸びてゆくためには、地域住民の切実な生活課題を正しく把握し、それと申しきだ。

昭和三十年以来、公民館は勤務してきた私たどつて、かつては市議会の話題にすらならないかったこの公運審予算を思う中で公民館の事業でなければならぬのではないか。」事業が、きれいごとの学習ゴッコや住民の生活に役立たない無

意の公運審予算を思ふ中で五十八年最初予算を審議する議会が、(柏崎市中央公民館)あまり聞く間がね。參事兼事務長・徳田助天

はどうすべきか (6) 第5回全国公研集会記録から

なく、建前論を出来るだけ排除した教育論の組み立てで、改めて生涯教育の中で家庭教育の位置付けをすることが一步前進できる。その中で成人期の課題のひとつとして親の在り方・家庭の在り方を据え、親自身が自立した大人となるには何を学習としなければならないかをみきわめて、学習として組織していくことが重要課題である。

第2分散会

助言者 清泉女学院短期大学教授 花岡重行
 司会者 宮城県仙台市中田公民館長 菊池康雄
 基調発表者 奈良県王子町中央公民館主事
 嶋岡俊和

研究討議

公民館事業として行なう家庭教育学級、講座等を推進して行くための諸問題

- いかにしてより多くの住民に参加していただくか。
 •家庭教育の重要性は誰しも承知のことであるが、これを推進する上での最も難しい点は人を集めである。
- 先ず公民館そのものについて住民に理解してもらい、つづいて学級、講座に入ってもらうという方法が効果的。
- 内容面で多くを望んでも人は集まらない、住民のニーズをつかみ、ほんとに必要なものだけを取り上げていかなければならない。

<助言者>

- 地域の全体的結集(町つくり)が行なわれなければ住民参加による目的達成も難しい。
 •この中核となるべきものが公民館である。
 •このためにも公民館組織の確立が必要。
- 住民の公民館意識の高揚をはかることが公民館事業の人集めに通じる。
- 学級、講座の内容について
 •家庭教育とは、親と子に対する私的な教育であって、子供の成長の過程の本来的な教育の役割りを果たすもの。
 •各学級、チーフリーダー、サブリーダーを置く、この人と公民館職員により次年度のプログラムについて検討。
 •講師団講師として、公運審委員を中心に巾広くお願いしているが、今後は職人的な人も加えていきたい方針。
 •学級開設だけが家庭教育ではない。家族みんなが参加できる催物を実施するのも一案と思う。

<助言者>

- 家庭教育とは、せまい意味では、親が子供の教育について

公民館のあるべき姿と今日的指標

—総集版—

全公連では15年前に発行した「公民館のあるべき姿と今日的指標」の復刻再刊の要望に答えて、新しく第二次の成案を合本し、「総集版」を発行した。

て考えることであり、広い意味では、家庭生活全般にわたり考えるものである。知識や技能のみ教える学校教育に対しやる気を起こさせるためのたましいを植え付けるのが家庭教育である。

- カリキュラムが非常にはっきりしている学校教育に対し、家庭教育はカリキュラムがあいまいである。

なお、望ましい家庭教育の在り方は、まず大人を教育し、その大人が子供を教育していくことである。

3 出席者(各館)の実態について

- 一番の悩みは講師不足、また受講者は限られた住民である。本来恵まれない(広い意味の)住民の参加をはかるべく方策を検討すべきと考える。
- 受講者の意向を汲んだ週二日位は夜の教室を開く。
- 家庭教育学級として、家族のふれあいの場ということと、親子の水泳教室、読書教室、学区民大学を行なっている。
- 老人に学ぶということで、老人が知っているワラ細工などについて子供等に教える機会を持っている。(寿マスター、伝承教室)
- 夫婦を対象として「明日の親の学級」を行なっている。
- 「高校生と語る会」ということで難しい年代の高校生と親の話し合いの場を設ける。
- 家庭教育学級運営委員会の組織あり。婦人会長を委員長とする。教室はすべて平日の昼間。この中で移動教室として「郷土の文化財を訪ねる」を実施する。これは非常に評判よく参加者が多い。

助言者のまとめ

- 学校教育は、主体である教師、客体である生徒、媒介である教科書と区別がはっきりできるが、家庭教育を含めた社会教育は、それが明確でなく、それだけに難しい。
- 家を建てる場合、土台、角柱は大事な役割を持っている。これと同様、人間形成のうえで人格を養うためのカリキュラムを家庭教育の中へとり入れなければならない。
- 子供を対象とした場合、意欲があり、やる気満々の人間を作っていくのが家庭教育の重要な点である。その項目を上げると、個性、尊重、対話、役割任務、息抜きなどがある。
- 家庭の者だけでなく、地域の人々とのふれあい(公民館活動)が大変重要である。それが真の家庭教育の基となり得る。



◎ 内容

第一次成案

解説

第二次成案(新しく合本)

A5判 350ページ 1冊 2,500円(送料別)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内

県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

家庭教育を推進するための課題・これから

第5回全国公民館研究集会が去る10月13日・14日長野市で開かれ、このたび記録がまとまった。

この大会では、管理経営部会13分科会、事業活動部会27分科会が設定され管理・経営・事業活動の具体策について熱心に討議された。ここに内容の一部を要約して紹介していきたい。

第1分散会

助言者 信州大学教育学部教授 武藤孝典
司会者 山梨県身延町社会教育主事 芦川勇
基調発表会 佐賀県西有田町社会教育主事 空閑秀則

基調発表に対する質疑応答

- 家庭教育学級開催時の子供の保育について婦人会のボランティアがダメになったのはどういう理由からか?
保育施設がないため他の学級生に迷惑がかかり、子供連れの母親が遠慮して出席しなくなってしまった。
- 企画委員会が主催者ペースであり、参加者の意見が少ないような気がするが?
1年間の学級終了時点での効果を早く期待して意見を強く出したことを反省しているが、細部の計画については学級生の主体的な意見を尊重して多く取り入れている。
- 参加しない人に対してどのような手立てを講じているか?
内容の良いしおり等を作成して学級生に配布したところ申し込み者が増加した。
- 学級等においては記録をとることが大切であると考えるが?
家庭教育学級では学級終了時点で文集を作成するところまで至っていないが、他の学級では必ず行なうようにしている。
- 現在、婦人の社会進出が多すぎるため家庭教育がうまくいかないのではないか?
学級への参加協力を企業に要望したが企業側も受け入れてくれなかつたし、お母さん方の中にも休んだ分だけ給料が減るので困るという意見をもつ人もいる。
- 開設時間等についてはどうか?
講師や助言者によって昼間になったり夜になったりしてしまう。保健婚等との連携は、対象者のリストアップ等である。

討議の柱

- 家庭教育を阻害しているもの
- 子供のための家庭・親の在り方
- 家庭教育を推進するためには

研究討議

- 家庭教育を阻害しているものについて
親が家庭で就業や教育を通して子供を育てていく中で、学級等で学んだ理想と現実との間の大きなひずみに悩んでいる。そのため親自身も子育ての信念が確立しにくくなっている。さらに物質主義・権力主義社会の悪影響が子供の忍耐心等を欠かさせ、学歴社会により受験競争が家庭教育のゆがみを生み出している。また母親の社会進出が家庭教育を弱体化させている面もある。(反対意見もあった。
行政は学童保育の充実を図る必要がある。)
- 子供のための家庭・親の在り方について
社会環境の変化をふまえて幅をもって子供に対応し、いかに逞しく育てるかを考えなければならない。親の仕事の姿・人との交際・地域との連帯など親自身が「親のうしろ姿」で子供を教育できるよう生活に信念をもつことが重要であり、そのために自立した人間となるための成人の学習醸成が必要である。
家庭においては、子供も家族の一員として役割を分担させることも重要である。就業については父母・祖父母等の教育方針が一致していて、明るく和のある家庭が大切である。
母親の社会進出についても社会の変化に対応して、従来どおりのパターンではなく新しい家庭教育の考え方も研究する必要がある。
- 家庭教育を推進するにはどうしたらよいか。
明日の親のための学級・子供文化の学習・「中学生日記」を題材にした母親学級等各種の事例はあるが、その中で本当に参加してほしい親の参加が少ない。この人たちの参加を高めるとともに、従来の子育て論を学ぶ学級の一方で、親の在り様そのものを成長段階における青年に伝えられるような親になるために、親自身が、成人になること、大人になること、親になることについての学習を進めていくことが重要になってきているのではないか。

助言者のまとめ

地域(末端)における家庭教育は、まだ集まって学習したにすぎない実態であるが、公民館活動は地域の親睦や連帯を高めるものであり、それがなければその上に立つ家庭教育学級も成立しない。社会教育行政面での行政力が現在は弱いので、もっとパワーをつけることも課題の一つである。また建前と本音のズレの中でお互いにふれ合っているのでは前進は

◎内 容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A5判34ページ 1部 300円(送料実費)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

柏尾市半蔵金分館(防雪センター)

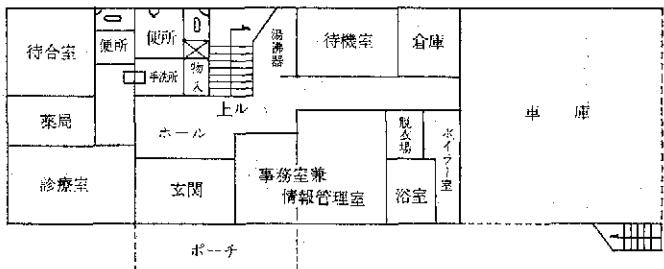


(鎮守の森の道祖神—くちづけ地蔵—)

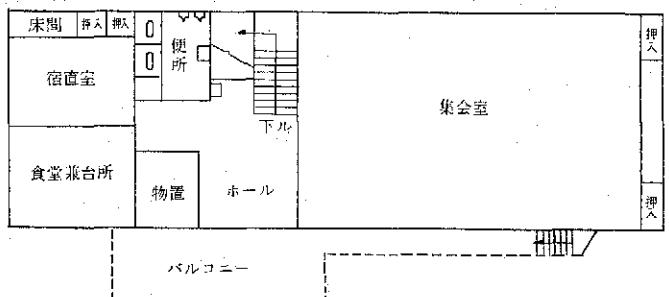
平面図

構造 鉄筋2階
建物面積 442m²

1階



2階



新生公民館繁盛記

(28)

公民館は花ざかり、これまでにすでに三十四館の公民館が登場。好評をいたいでいます。これからもよしよしと紹介します。

半蔵金地区のあらまし
この半蔵金は、柏尾市によるバス
路沿いに沿った溪谷に細長く伸びた海拔二〇〇～二〇〇メートルの戸数百戸の小さな村落です。小中学校、農協支所、郵便局と、公共機関もあり、米づくりと蓄積を中心とした農業経営を取り組み、その収穫で、勤労を尊ぶ村の風氣が、代々と引き継がれてきています。このような環境の中で、生涯教育をめざした公民館活動が、その目的として、代々主事の学校長が、その編纂発行にあたっており、今年一月現在で、一五〇冊の書籍が、地区内の公民館、学校の様な施設で、地区の文化活動の一環として行われています。

半蔵金便りの毎月の発行
地区内の公民館、学校の様な施設で、地区の文化活動の一環として行われています。
・公民館活動の概要

動地味ではないますが、着実に事業のあり方など、日常生活全般についての話合い活動を通じて、明るい家庭、明るい村づくりの環境として行われています。

・その他各種教室の開講
婦人会、老人会、青年団、農友会、スケベル、仲良会等のサークルによる民謡手話、料理、音楽、講習等が、年間を通して開講されており、近代的な防雪センターの施設がその積極的な活動の場になつてゐることは申すまであります。

行政・医療・集いの場 一体となつて明るい村づくり

・半蔵金防雪センター

県下でも指折の豪雪地帯の当地区として、西条地区的除雪対策事業の一環として、西条地区の除雪対策事業のセンターとしての機能の他、行政、医療、区民の集いの場として、建設が進められてきました。昭和五十五、五十六の「基礎整備費休制整備事業」においては、建設がはじめられ、昭和五十六年八月三日役割をなっています。国土庁に竣工式典が行われ、現在に至ります。

業として、総事業費八千万円、うち四〇%、県市各二五%で

鐵筋コンクリート、三九の積雪に耐えられる設計で、昭和五十五、五十六の「基礎整備費休制整備事業」においては、建設がはじめられ、昭和五六年八月三日役割をなっています。国土庁に竣工式典が行われ、現在に至ります。

地区訪問会

十地区に亘りして、それを一ヶ月ごとに、公民館、学校長、公民館活動を交えて、区行政につれての要望や公民館活動のあ

り方、学校教育上の諸問題、農協

事務のあり方など、日常生活全般についての話合い活動を通じて、明るい家庭、明るい村づくりの環境として行われています。

・その他各種教室の開講

婦人会、老人会、青年団、農友会、スケベル、仲良会等のサークルによる民謡手話、料理、音楽、講習等が、年間を通して開講されており、近代的な防雪センターの施設がその積極的な活動の場になつてゐることは申すまであります。

(柏尾市半蔵金分館長 石丸金次)

